

総務教育常任委員会資料

(平成23年2月15日)

〔 件 名 〕

- ・平成22年度東京本部の活動状況について 【東京本部】・・・1
- ・平成22年度名古屋本部の活動状況について 【名古屋本部】・・・2
- ・時間外勤務縮減の取組状況について 【人事企画課】・・・3
～スマート県庁5(GO)・5(GO)プロジェクト～
- ・鳥取県史ブックレット7の刊行について 【公文書館】・・・4

総 務 部

平成22年度東京本部の活動状況について

平成23年2月15日
東京本部

1. 情報発信等

(1) アンテナショップ

「食のみやこ鳥取県」の情報発信拠点として、年間を通じ運営を支援した。

(2) マスコミ媒体の活用

テレビ、新聞、雑誌編集部への働きかけ等による露出(放映・掲載実績延162媒体)
〈内訳〉テレビ(6)、新聞(87)、フリーペーパー(14)、雑誌(29)、ウェブ(24)、他(2)

(3) 催事の実施・参加

・NHK連続ドラマ「ゲゲゲの女房」ブームに乗り、妖怪着ぐるみや妖怪そっくりさんなどによりイベントに参加し、鳥取県のPRを実施した。

催事〈例〉	期間	場所	主な内容
ゲゲゲの鬼太郎展	8/7～22	杉並アニメーションミュージアム	観光PRブースを設置
ゲゲゲ展	8/11～23	銀座松屋	観光PR
musmus3周年フェア	4/26	新丸の内ビル	ハタ料理の提供
とっどりの梨を食べよう	9/3～7	ママトコ	梨特別メニューの提供
鳥取県をにぎっちゃお	11/20	ごはんミュージアム	おにぎりづくり

・鳥取県観光連盟とともに、都内各所の旅行代理店店頭及びショッピングセンター等においてイベントを開催した。
・首都圏の大学(明治大学、東海大学、学習院大学)で開催される生涯学習講座において、鳥取の歴史・文化等をテーマにした講座等を開催した。

(4) その他

・鳥取県観光連盟とともにJTB、日本旅行などに対し「とっとり観光ニュース」や旬の情報を提供するとともに情報収集を行い、旅行商品の造成につなげた。
〔〈例〉金融機関の年金口座開設者等を対象とした旅行ツアー企画の情報をいち早く入手し、関西本部との連携により山陰へのツアーを誘致した。〕
(期間: H23 1月～4月、参加者: 約15,000人を想定)

・メールマガジン「とっとり@東京インフォメーション」を週刊発行した。

2. 県産品の振興・販路開拓

(1) 販路開拓

・商品定番化を目的として、イトーヨーカドー大宮店(さいたま市)及び鶴見店(神奈川県横浜市)で鳥取フェアを開催した。
・首都圏の量販店等のニーズに合った県産品の提案を行った。(延22社、63商品の取引が決定)

(2) 首都圏企業ニーズのフィードバック

首都圏の量販店等から聞き取ったニーズ、商品の評価を県内企業に情報提供を行った。(らっきょう外皮を使ったジャム等の商品開発、葉わさびの醤油漬の開発など)

3. 企業誘致・IJUターン促進

(1) 企業誘致

・新規立地協定締結予定 1社
・分野別企業訪問件数(1月31日現在)

区分	件数
食品・バイオ	215
環境関係(太陽光等)	73
IT、情報通信関連	67
その他	313
計	668

(2) IJUターン促進

・定住相談・支援件数

区分	件数
相談人数	133
相談件数	359
IJUターン実績	11

4. その他の活動

(1) 行政関係の情報収集・発信と連絡調整

・各省庁要望活動(年延30回程度)の調整、随行、支援を行った。
・県選出国会議員との連絡調整・情報収集を行うとともに、県ゆかりの省庁職員等との連携を図った。

(2) 各種団体等への支援・協力

・東京鳥取県人会事務局を所管。同窓会、市町村会等との連携、協力を図った。
・若い鳥取県応援団と連携し、首都圏での情報発信を図った。
H22 9/25 15:00～26 15:00 「USTREAMによるインターネット生放送」
H23 2/13 13:00～ 14:30 「鳥取雪害応援プロジェクト」

平成22年度名古屋本部の活動状況について

平成23年2月15日
名古屋本部

1 イベントの参加、実施

- (1) 新聞社・テレビ局の主催イベントや施設・団体と連携したイベントに参加し、鳥取県PRを実施した。

ゲゲゲの鬼太郎と鳥取県フェア	7/21~8/2	名古屋三越栄店	百貨店催事。妖怪着ぐるみで観光PR
妖怪フェスティバル in オアシス21	8/10~9/5	栄オアシス21	中日新聞、東海テレビが主催 観光コーナ設置(27日間)、妖怪着ぐるみ等でPR
ランの館との連携イベント	10/2~11/3	ランの館	玄関ホールに鳥取県コーナー設置(33日間) ハロウィンパレードに鬼太郎等参加(10/31)
その他イベントに参加	10回	延べ56日	

- (2) 中日ビル玄関等で妖怪着ぐるみ等が参加して「ゲゲゲのふるさと鳥取県」をPRした。

・中日ビル玄関で実施 計20日 ・中部国際空港で実施 計6日

- (3) 鳥取県観光連盟とともに旅行会社入居の大型ショッピングセンターや旅行会社店舗で鳥取県PRを実施した。

・8店舗で実施 計7日

2 マスコミ等を活用した情報発信

- (1) 新聞、フリーペーパーへの情報提供や、取材等により発信した。

新聞等の読者プレゼント欄で鳥取県産品を用いて掲載、コメントで観光情報を発信	27回
県内イベントのPRで新聞社訪問した記事掲載ほか	12回
新聞社やフリーペーパーの記者が鳥取県内の現地取材を行い、その記事を掲載	3回
物産フェアや観光イベントの事前告知や開催当日の取材記事などの掲載(新聞、テレビ、雑誌、HP等) およびチラシ・ポスター掲出など ○妖怪フェスティバルやランの館イベントの告知や取材記事(45回) ○中日ビルや中部国際空港での観光PRの告知や出稿、取材記事(32回) ○各県合同物産観光展や物産フェア、らっきょう講習会の開催告知や当日取材記事(44回)	

3 県産品の発信を主体とした催事

- (1) 鳥取県物産協会や県内関係者と連携して、催事を中心に県産品を発信した。

各県合同物産観光展	・春(4月)、冬(11月)に開催(いずれも中日ビル、5日間開催) ・干支と民芸品展(12月、中日ビル)
らっきょう漬け方講習会	・中日ショッパー(フリーペーパー)で募集(281人応募) 県内から講師派遣、26人参加(他にJA主催の講習会に参加(計3日間))
JR名古屋タカシマヤ・ゲゲゲのふるさと鳥取県フェア	・開催:8/25~31 7日間 ・鳥取県物産協会員12社出店、知事による「新甘泉」配布(8/29)

4 企業誘致、取引促進活動

- (1) とっとり企業人交流会 in 名古屋2010を実施

・メッセナゴヤ(見本市)の開催に合わせて、県、鳥取県産業振興機構、メッセナゴヤ出展の鳥取県内企業、東海地区の本県にゆかりのある企業関係者との情報交換会

月日および場所: 10月29日(金) ポートメッセなごや(メッセナゴヤ会場施設内)

出席者: 37名

5 その他

- (1) 県人会等との連携

・東海鳥取県人会とともに、全国ふるさと県人会まつりへの参加、鳥取県PR(9月)

時間外勤務縮減の取組状況について
～スマート県庁5(GO)・5(GO)プロジェクト～

平成23年2月15日
人事企画課

1 時間外勤務の状況について

○本年度の12月までの時間外勤務実績は、前年比較で△33.1%減少。

【知事部局の時間外勤務実績。()は一人当たり平均】

		H22	H21	前年増減比
第1四半期(4～6月)		103,981h	157,356h	△33.9%
第2四半期(7～9月)		79,732h	119,872h	△33.5%
第3四半期(10～12月)		96,703h	141,858h	△31.8%
計		280,416h(12.4h)	419,086h(18.3h)	△33.1%(△32.5%)
内訳	本庁	129,989h(16.3h)	206,669h(26.1h)	△37.1%(△37.6%)
	地方機関	150,427h(10.2h)	212,417h(14.2h)	△29.2%(△27.9%)

○月60時間以上の時間外勤務を行っている職員について

12月までに月60時間以上の時間外勤務を行った延人数は、昨年同期の約1/3に減少した。(H22:494人/H21:1,352人)

2 業務改善の取組について

(1) 予算編成業務等の見直し

当初予算編成及び組織定数編成といった全庁に影響する事務について、簡素化・効率化の観点から見直しを実施した結果、時間外勤務の縮減が図れた。

【予算編成業務の縮減：10～12月】

政策戦略事業に係る要求・査定を3段階から知事要求・査定のみとするなど、編成システムを合理化した結果、資料作成や事前の調整作業の省力化が図られた。

- ・知事部局全体 △33% (H22:16,569h/H21:24,759h)
- ※農政課では予算額集計作業のDB化により、140時間を縮減
- ・財政課の時間外勤務 △20% (H22:4,163h/H21:5,218h)

【組織定数編成業務の縮減：10～12月】

要求方法の標準化(様式の統一など)により、無駄な資料作成が減った。また、要求側との共同作業を進めるなど作業の効率化が図られた。

- ・業務効率推進課の時間外勤務 △19% (H22:2,136h/H21:2,636h)

(2) カイゼン活動の取組

本年度から取り組んでいるカイゼン活動により、カイゼンの必要性及び効果が全庁的に認識された。

また、各所属でのカイゼン推進員の配置など、カイゼンに取り組む体制が整備された。

3 今後の取組について

○部局の取組で効果があったものは横展開を図り、全庁での共有化を進める。

○カイゼン活動は平成23年度においても引き続き展開を図り、新たに「仕事の見える化」を行い、業務プロセスを改善し、カイゼンの定着につなげていく。

鳥取県史ブックレット7の刊行について

平成23年2月15日

公文書館

公文書館では、このたび新鳥取県史編さん事業の成果として以下の書籍を刊行しました。

鳥取県史ブックレット7「満蒙開拓と鳥取県」 A5判114頁 頒布価格500円

(内容)

戦前、満州の治安対策と国内農村の復興をめざして呼びかけられた満州農業移民。鳥取県からは開拓団1339名、青少年義勇軍2287名が、大陸での農業経営を夢みて海を渡り、その多くが敗戦後の難民生活を余儀なくされました。本書は、満蒙開拓参加者への聞き取りや中国東北地方の現地調査等を通じて、鳥取県の移民政策の展開課程と開拓団・義勇軍の入植の実態を明らかにしたものです

(頒布方法)

2月7日から以下の窓口で頒布しています。

- ・公文書館
- ・県民課（本庁舎1階）
- ・各総合事務所県民局
- ・株式会社今井書店の6店舗

（吉成店、湖山店、倉吉今井書店、パープルタウン店、本の学校今井ブックセンター、錦町店）

*なお県外の方、そのほか窓口で購入することが困難な方には配送します。